
[成果情報名] イチゴ「あまおう」の小型ポット育苗における省力的な葉数管理法

[要約] イチゴ「福岡S6号」(「あまおう」)は、小型ポットによる棚式育苗中 3~ 5葉で管理すると摘葉後の展葉速度に大きな差がない。摘葉処理は、5枚になったときに2枚摘葉する方法が省力的である。

[キーワード] イチゴ、あまおう、小型ポット、摘葉

[担当部署] 筑後分場・野菜チーム

[連絡先] 0944-32-1029

[対象作物] 野菜

[専門項目] 栽培

[成果分類] 技術改良

[背景・ねらい]

福岡県育成品種「福岡S6号」(以下「あまおう」)における育苗中の葉数管理は、草姿が半立性のため「とよのか」より1枚多い4枚が基準となっている。しかし、育苗中の摘葉処理が展葉特性に及ぼす影響についての知見はない。

そこで、小型ポットによる棚式育苗における展葉特性を明らかにし、それに基づいた適切な葉数管理法を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 「あまおう」の小型ポットによる棚式育苗における摘葉処理は、約2カ月間の育苗期間中、葉数が4枚になった時に3枚に整理ないしは葉数が5枚になった時に4枚に整理する1枚ずつの摘葉処理と、葉数が5枚になった時に3枚に整理する2枚摘葉処理とで、その後の総展葉数および1日当たり展葉数に大きな差がない(表1、図1)。
2. 摘葉回数は、1枚ずつの摘葉処理が6回に対して2枚摘葉処理では半分の3回になる(表1)。
3. 最終的な苗の仕上がりは、4枚から3枚に摘葉したもの、5枚から4枚に摘葉したものの、さらに5枚から3枚に摘葉したもので差がなかった(データ略)。

[成果の活用面・留意点]

1. 「あまおう」の小型ポットにおける棚式育苗の省力的な摘葉技術として活用できる。
2. 本試験で使用した棚式育苗は、ポット間隔15cmである。

[具体的データ]

表1 摘葉処理ごとの時期別展葉数

(2002年)

処理区	6/28 ~ 7/16 ~ 7/26 ~ 8/ 8 ~ 8/16 ~ 9/6	総展葉数	摘葉回数
4枚 3枚	0.80 1.20 1.75 1.60 2.59	7.94	5回
5枚 4枚	1.00 1.20 1.75 1.18 2.66	7.79	5回

(2003年)

処理区	7/ 7 ~ 7/14 ~ 7/25 ~ 8/ 3 ~ 8/12 ~ 8/20 ~ 9/1	総展葉数	摘葉回数
4枚 3枚	0.96 1.27 1.32 1.00 1.10 1.87	7.52	6回
5枚 4枚	0.95 1.15 1.12 0.95 1.12 1.80	7.09	6回
5枚 3枚	0.96 1.23 1.12 1.02 1.13 1.93	7.39	3回

注) 1. 単位：枚

2. 処理区は、それぞれ葉数が4枚になった時に1枚除去して3枚に整理、葉数が5枚になった時に1枚除去して4枚に整理、葉数が5枚になった時2枚除去して3枚に整理。
3. 鉢上げは、2002年、2003年ともに6月17日。

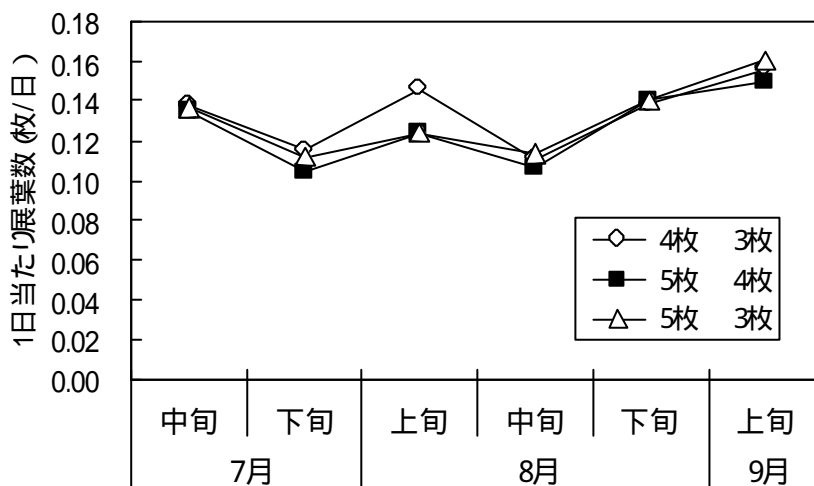


図1 摘葉処理ごとの旬別日当たり展葉数の推移 (2003年)

[その他]

研究課題名：イチゴ高設栽培におけるかんがい水の利用改善技術

予算区分：経常

研究期間：平成15年度 (平成14~16年度)

研究担当者：水上宏二・小田原孝治